

令和元年度 第2回 産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録

- 1 日時 令和元年5月15日(水)～令和元年5月27日(月)持ち回り
- 2 場所
- 3 出席者 学内：齋藤、藤野(善)、庄司、森本(景)、久岡、佐伯、檜本、深川
学外：櫻井、水谷、小川
欠席者 なし

4 報告事項等

- (1) 平成31年度第1回産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録(案)について
齋藤委員長から資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5 その他

- (1) 研究終了・中止・進捗状況報告について

<進捗状況報告>

- セ H25-13 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児
研究課題名：精神病性障害関連遺伝子の解析研究
審査要旨：審査の結果、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

6 研究の進捗状況および成果

「当初の目的に対して遅れているが、今後の進展により成果が見込まれる」
にチェックがされているので、説明欄に研究が遅れている理由についても記述する。

8 今後の研究方針

簡潔すぎるので、もう少し具体的に記述する。

- セ H26-02 実施責任者：医学部 脳神経外科学 講師 中野 良昭
研究課題名：小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築 I. 髄芽腫、上衣腫
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

- セ H26-10 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児
研究課題名：うつ病患者の復職成功の鍵は何か
審査要旨：審査の結果、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

6 研究の進捗状況および成果

「当初の目的に対して遅れているが、今後の進展により成果が見込まれる」

にチェックがされているので、説明欄に研究が遅れている理由について明確に記述する。

8 今後の研究方針

研究期間が終了まであまり時間がないこともあるため、研究期間を延長する予定の有無についても追記する。

セ H29-06 実施責任者：医学部 精神医学 助教 手銭 宏文

研究課題名：持続性抑うつ障害に対する行動活性化療法の効果

審査要旨：審査の結果、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

4 研究の概要

フォントがゴシック体になっているので、明朝体にそろえる。

8 今後の研究方針

「介入実施スケジュールをみなおし」とあるが、研究計画の変更を伴うことになるのか否か、記載する。